

ひっとプラン港北 日吉地区ニュース

地区計画目標

光と活力に満ちあふれる日吉

～一つひとつの活動がひかり、大きな活力に発展するまち～

◇わたしたちが目指すまち

みんな元気で笑顔であいさつするまち 日吉

ひろめよう笑顔たやさず明るいまち 日吉

新しいと なつかしさが繋がるまち 日吉

みんなでたすけあい 災害をのりきるまち 日吉

住んでよかったと思えるまち 日吉

令和元年度の取組（各町で取り組んだこと）

【日吉宮前】

移動動物園では子どもたちがたくさんの動物と触れ合いました。また、防災に関する研修会では、多くの方が自分たちの町について学びました。

【箕輪】

要援護者の支援体制づくりのため、手始めに複数の名簿を一本化しました。これから対象者の確認作業と支援方法の検討をしていきます。

【下田】

まち歩きや防災拠点訓練の参加者が気になっている、危険な場所や福祉施設などを記載した「まちの拡大地図（ガリバーマップ）」を制作しました。

【日吉本町】

今年度はこれまでにまち歩きを実施して作成したマップをもとに、災害時に必要と思われる情報や優先度が低い情報等を整理する等工夫しています。

【日吉町】

「なかよし」は今年7周年！参加者が楽しめる企画を考えて実施してきました。防災マップは、各地区ごとのまち歩きを重ね、避難路なども記載しました。

『光と活力』福祉実践活動発表会開催！！

於：令和2年1月26日【慶應義塾大学 協生館】

- 1) 下田地区 【防災マップ作り町歩きで見えてきたこと】
- 2) 日吉本町地区 【防災町歩きのとめに向かって】
- 3) 日吉宮前地区 【町の移り変わりマップ作り】
- 4) 日吉地区 【10年間を振り返って】
- 5) 箕輪地区 【要援護者名簿の作成】



日吉地区の皆様へのメッセージ

第3期計画（5年間）の最後の1年を迎える今年度は、各町ごとに特徴的な防災マップが完成する予定です。お手元に届きましたら、ぜひご家族でポイントを確認しながら「防災まち歩き」を試してみてくださいね。また、「ひっとプラン港北」第4期計画（令和3～7年度）の策定もしていきますので、お住いの町の活動にご参加頂き、たくさんのご意見をお寄せください。

各町の特徴ある様々な行事への参加を通し、住民同士のつながりを広げていきましょう！！



「ひっとプラン港北」(港北区地域福祉保健計画)ってなに？

「誰もが安心して健やかに暮らせるまち 港北」を目指し、地域住民と関係団体、行政等が連携して地域の福祉保健課題の解決に取り組み、助けあい、支えあいの地域づくりを進めるための計画です。

(詳しくは…「ひっとプラン港北」のホームページをご覧ください)

※ひっと⇒担い手が<ひろがる>、活動が<つながる>、情報・サービス・支援の手が<とどく>の頭文字をつなげた港北区地域福祉保健計画の愛称です。

★★「ひっとプラン港北」の取組概要と令和元年度取組の状況★★

計画の柱1 <ひろがる> - 理解と参加のひろがりによる活発な地域づくり -

◎多くの地域で多様な世代の住民に活動へ参加してもらうための取組が進められています。

- ・男性対象の生きがいづくり等をきっかけにした地域活動参加への働きかけ
- ・空き家や空き店舗等を活用した住民交流の居場所づくり
- ・高齢者の介護予防・生活支援の活動(サロン・家事支援・配食等)の増設

計画の柱2 <つながる> - 人のつながりで進める安心なまちづくり -

◎誰もが住み慣れた地域で安心して過ごせるよう、多様性の理解を進める事業に取り組みました。

- ・多世代交流を目的とした地域食堂の開催
- ・ウォーキングサポーターの人材育成と活動支援
- ・多様性の理解をテーマとした「※区民フォーラム」の開催

計画の柱3 <とどく> - 支援がとどく仕組みづくり -

◎自ら相談しにくい困りごとを抱える方や支援が必要な方を、地域で温かく見守る取組を進めました。

- ・自治会町内会を通して救急医療情報キットを配布
- ・地域防災拠点訓練における人形劇を用いた要援護者理解の促進

区民フォーラム

『ここにも、そこにも、あそこにも いろんな共生みつけた!』

～区内で行われている「だれかを見守ること」や「ちょっとした手助け」の活動紹介～

- ◎ガイドボランティア ～障がい児の登下校の見守り～
- ◎とも・とも篠原 ～障がい児の放課後の居場所～
- ◎樽町なごみ食堂 ～地域食堂での交流～
- ◎food & liquor KOIZUMI ～商店における見守り～
- ◎港北区後見の支援室さぽーと・うみ ～障がい者が地域の皆さんに見守られながら生活すること～



それぞれの活動への思い、心掛けていることをお話しいただきました。

【発表者のお話から】「まずは自分が楽しいと思えること。自分で壁を作らないで。」「障がいのある人もない人も自分の思いがかなえられるとよい。」「本人や家族の思いを真ん中に。」「道であったときに挨拶できる間柄でありたい。」「昭和のおせっかいおばちゃんとして、子どもが身につけるべきルールは周りの大人が伝えなきゃ。」「活動を始めてみて感謝が一杯。」

★計画の詳細は



で検索

発行：令和2年4月

編集：港北区福祉保健課・港北区社会福祉協議会